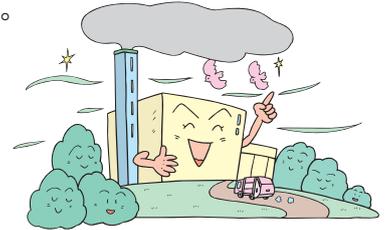


うるま市のごみ処理経費・ごみ搬入量・資源化量等について

中部北環境施設組合に搬入された平成22年度のごみの量は、前年度と比較して微増しています。ここ数年概ね横ばいの状況にあります。市民一人当たりのごみの処理に係る経費が多額であります。より一層うるま市が推進するごみ分別、リサイクルの取り組みを徹底し、ごみの減量化を図る必要があります。

○ごみ減量に向けた3R運動の取り組みにご協力をお願いします。

- ・リデュースのR…ごみを出さない
- ・リユースのR…繰り返し使おう
- ・リサイクルのR…資源として活かそう



1.ごみ処理経費 ※()内の数値は平成21年度実績です。

経費区分	金額	市民1人当たり 年間負担額	1世帯あたり 年間負担額
ごみ収集運搬等諸経費	2億1,632万円	1,818円	4,827円
負担金	ごみ処理経費	12億4,303万円	10,447円
	最終処分費	1,830万円	153円
ごみ処理総事業費	14億7,765万円 (15億7,603万円)	12,418円 (13,439円)	32,973円 (35,878円)

2.ごみ搬入量

ごみの種類	平成22年度	平成21年度	前年度比較	市民1人当たり 1日排出量	1世帯当たり 1日排出量	
可燃ごみ	28,978ト	27,998ト	980ト	243.6 ^g	646.7 ^g	
不燃ごみ	478ト	484ト	-6ト	4.0 ^g	10.7 ^g	
粗大ごみ	290ト	264ト	26ト	2.4 ^g	6.5 ^g	
資源ごみ	缶類	258ト	339ト	-81ト	2.2 ^g	5.7 ^g
	びん類	897ト	887ト	10ト	7.5 ^g	20.0 ^g
	ペットボトル	282ト	275ト	7ト	2.4 ^g	6.3 ^g
	古紙類	397ト	454ト	-57ト	3.3 ^g	8.9 ^g
合計	31,580ト	30,701ト	879ト	265.4^g	704.8^g	

3.資源化量

種類	平成22年度	平成21年度	前年度比較
缶類	239ト	310ト	-71ト
金属類	191ト	213ト	-22ト
びん類	857ト	850ト	7ト
ペットボトル	252ト	255ト	-3ト
古紙類	354ト	419ト	-65ト
蛍光管	22ト	20ト	2ト
乾電池	23ト	22ト	1ト
スラッグ	1,904ト	1,969ト	-65ト
メタル	7ト	12ト	-5ト
合計	3,849ト	4,070ト	-221ト

※平成23年1月末日現在の人口118,978人、世帯数44,812世帯、平成22年1月末現在の人口118,055人、世帯数43,927世帯です。

※負担金とは、ごみ処理事業を行うために必要な経費を、うるま市から中部北環境施設組合にあてる、ごみ処理経費です。

※末端処理をしているため、数値が一致しない場合があります。

※資源化量の金属類は、不燃ごみ・粗大ごみから破碎・分別して出てきたものです。

※資源ごみ搬入量と、資源化量の数値の違いは、手選別作業による異物除去のためです。

4.最終処分量

種類	平成22年度	平成21年度	前年度比較
飛灰	915ト	858ト	57ト

中部北環境施設組合 ☎972-6619

「環境美化の日」及び「環境月間」一斉清掃について

うるま市では、6月第2日曜日(6月12日)を「環境美化の日」として定め、6月の1か月間を「環境月間」として、各自治会・市民・各種団体・事業者等へ一斉清掃等と呼びかけています。市民が一斉清掃に参加される場合は、所属する各自治会、組織等へお問い合わせください。また、各団体等の代表者は、ごみの搬入許可証等をうるま市環境課へ申請してください。

お問い合わせ：環境課 ☎973-5594